

2021年3月期 第2四半期 決算説明資料



**2020年11月18日
大建工業株式会社
(証券コード：7905)**

目次

1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響 及び 対応状況

■ 新型コロナウイルス感染拡大の影響 及び 対応状況	4
----------------------------	---

2. 2021年3月期 第2四半期 業績

■ 2020年度 上半期 市場環境	6
■ 2021年3月期 第2四半期 業績	7
■ 2021年3月期 第2四半期 セグメント別業績	8
■ 2021年3月期 第2四半期 営業利益増減要因 実績	9
■ 2021年3月期 第2四半期 市場別 売上実績	10
■ 2021年3月期 第2四半期 注力3市場 売上実績 セグメント別増減	11

3. 2021年3月期 業績予想

■ 2021年3月期 業績予想	13
■ 2021年3月期 営業利益増減要因 予想	14
■ 2021年3月期 セグメント別 売上予想	15
■ 2021年3月期 市場別 売上予想	16
■ 2021年3月期 注力3市場 売上予想 セグメント別増減	17

4. 注力市場での主な取り組み

■ 北米市場の展開	19
■ 不燃製品のラインアップ強化	20
■ 抗ウイルス機能建材の拡充	21
■ 市場別 売上構成比推移（中期経営計画で目指すポートフォリオ）	22

5. 財務情報

■ 2021年3月期 第2四半期 連結貸借対照表	24
■ 2021年3月期 第2四半期 連結損益計算書	25
■ 2021年3月期 第2四半期 連結キャッシュフロー計算書	26

新型コロナウイルス感染拡大の影響 及び 対応状況

新型コロナウイルス感染拡大の影響 及び 対応状況

	1Q	2Q
全社体制 業務拠点	◆新型コロナウイルス対策本部（本部長：社長執行役員） 全社一元的な管理体制を構築	継続対応 →
	◆4月～緊急事態宣言下：在宅勤務を徹底し出勤率20%程度 解除後、東京、大阪等の業務拠点、出勤率50%指示 地方業務拠点は、通常業務に近いレベルに ショールーム 閉館 ⇒解除後、予約制で対応	継続対応 →
国内生産拠点	◆岡山工場、高萩工場、三重工場、井波工場、 他グループ工場 一部生産調整しながら継続稼働	継続対応 →
海外生産拠点	◆マレーシア：MDF2工場人員半減による操業 5月中旬より9割人員に戻し稼働継続	通常稼働 →
	◆ニュージーランド：MDF2工場 4月ロックダウンで操業停止 以降、継続稼働	通常稼働 →
	◆北米：カナダ単板工場 通常稼働継続 米国LVL工場 4～5月 6割減産から徐々に回復 7月から通常稼働に	通常稼働 →
	◆中国：前期 春節後から2/17まで停止。 再開後、稼働率を3割減、6月より通常稼働に	通常稼働 →
	◆インドネシア：5月操業停止。レバラン休暇明け6月初旬再開	通常稼働 →
リスクへの対応	◆設備投資計画の凍結：売上増加を前提とする投資は凍結 ◆費用の総点検・厳選 ◆手元流動性の確保：不確実性に備え、水準引き上げ	継続対応 → 2Q末時点 手元流動性240億円（3月末比+21億円） 現金預金190億円+コミットメントライン50億円（未使用）

2021年3月期 第2四半期

業績

2020年度 上半期 市場環境

<国内住宅市場>

◆消費増税後の反動減に、新型コロナ影響が加わり、新設住宅着工、リフォームともに低調に推移。

2020年度上半期 国内新設住宅着工

(単位：万戸)	2019年1-6月	2020年1-6月	増減率	2019年度4-9月	2020年度4-9月	増減率
新設住宅着工戸数	44.9	39.8	△11.4%	46.7	41.4	△11.3%
うち持家	14.4	12.4	△13.7%	15.3	13.1	△14.2%
うち貸家	16.7	14.9	△11.0%	17.5	15.7	△10.8%
うち分譲戸建	7.2	6.7	△7.4%	7.5	6.4	△14.5%

<公共・商業建築分野（非住宅分野）>

◆インバウンド需要の蒸発に伴う商業施設・宿泊施設の工事の中断・延期による影響大。

◆当初計画されていた東京五輪・パラリンピック開催年にあたり、工事需要の端境期に。

<原材料・物流費>

◆輸入合板価格は下落。原油・ナフサ価格の下落により、エネルギー・化成品関係も下げ基調に。

前期までの物流費増の影響は一巡。

<MDF市況>

◆前期から続く、米中貿易摩擦等に端を発するアジアを中心とした市況悪化に加え、新型コロナ影響による世界的な生産活動の停滞による家具・建材用途での需要減の厳しさが続く。

<米国住宅市場>

◆1Qは新型コロナ影響に伴う建設工事の中断による需要減の影響大。2Q以降は、住宅着工が急回復。

2020年度上半期 米国住宅着工推移

年月	2020年4月	2020年5月	2020年6月	2020年7月	2020年8月	2020年9月
住宅着工件数（万件・年換算）	93.4	101.1	122.0	149.2	138.8	141.5
前年比	△27.1%	△20.1%	△1.7%	+22.8%	+0.1%	+11.8%

2021年3月期 第2四半期 業績

売上高 前期2Q以降に子会社4社（北米事業2社、リフォーム事業、無垢床材事業）の業績を連結損益に取り込んだことによる増加があるも、既存事業製品の販売減により前年同期比5.0%減収。
（前期 新規連結影響を除く 前年同期比10.5%減収）

営業利益 合理化・コストダウン、販管費の削減に加え、上記の連結損益取り込みによる増益があるも、既存事業製品の減収による利益減の影響を吸収するには至らず、前年同期比24.6%減益。

対当初予想 1Q時点予想に対しては、想定を上回る米国住宅市場の急回復により売上、利益ともに上振れ。

(単位：百万円)	'20/3期2Q (実績)	'21/3期2Q (実績)	前年同期比		'21/3期2Q (8/7予想)	実績との差
			増減額	増減率		
売上高	97,548	92,671	△4,876	△5.0%	89,000	+3,671
営業利益	3,790	2,857	△932	△24.6%	2,000	+857
営業利益率	3.9%	3.1%	△0.8pt	-	2.2%	+0.9pt
経常利益	4,197	3,371	△825	△19.7%	2,200	+1,171
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,087	1,986	△100	△4.8%	1,400	+586
1株当たり 四半期純利益	80.21円	76.29円	△3.92円	△4.9%	53.77円	+22.52円

2021年3月期 第2四半期 セグメント別業績

素材事業

前期2Qからの北米の連結損益取り込みにより増収を確保するも、新型コロナ影響によるMDFや畳など既存事業製品の減収による利益減を吸収するには至らず減益。

建材事業

公共・商業建築分野向けで増収となるも、消費増税後の反動減、新型コロナ影響により、新築住宅、リフォーム向けの売上が減少し、減収減益。

エンジニアリング事業

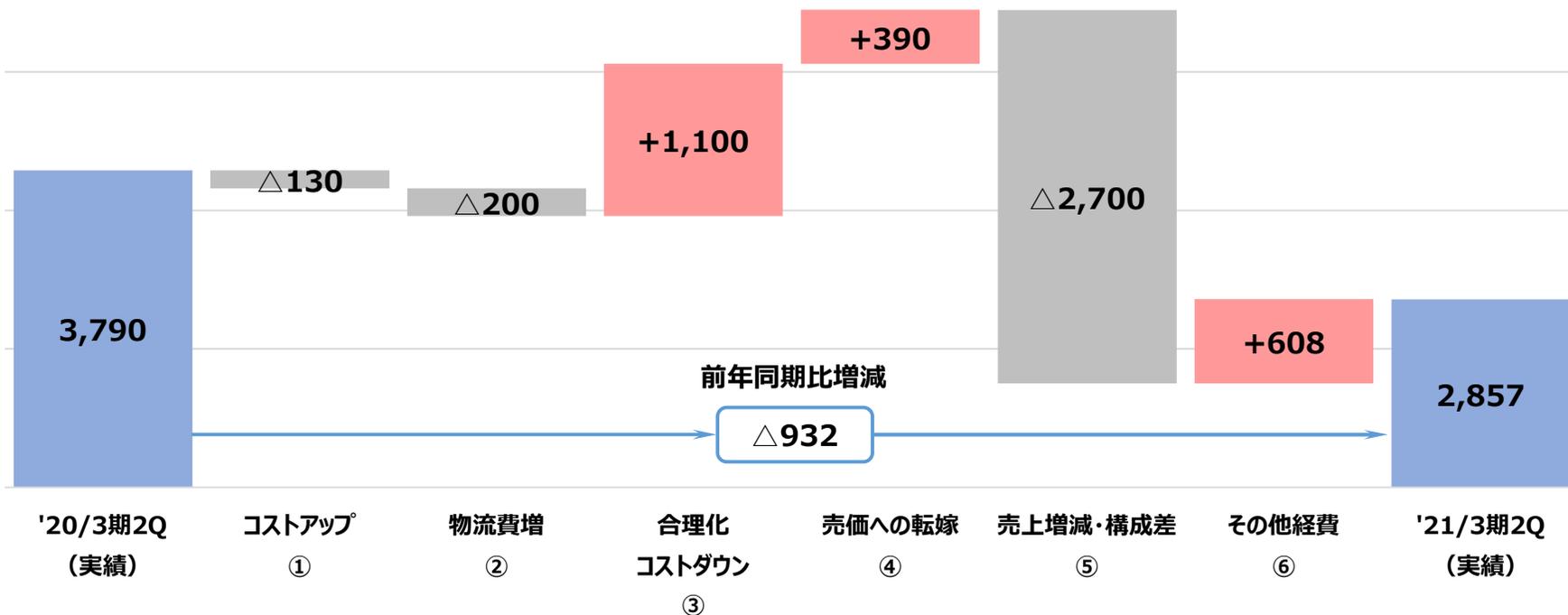
前期2Q以降に新規連結したリフォーム事業、無垢床材事業による増収があるも、オフィスビル等の内装工事の需要減により減収減益。

(単位：百万円)	'20/3期2Q (実績)		'21/3期2Q (実績)					
	売上高	営業利益	売上高	前年同期比		営業利益	前年同期比	
				増減額	増減率		増減額	増減率
素材事業	36,365	1,129	36,660	+294	+0.8%	889	△240	△21.3%
建材事業	46,652	2,226	42,309	△4,342	△9.3%	1,497	△729	△32.8%
エンジニアリング事業	10,152	329	9,415	△736	△7.3%	253	△75	△23.1%
その他	4,376	104	4,285	△91	△2.1%	217	+112	+108.2%
合計	97,548	3,790	92,671	△4,876	△5.0%	2,857	△932	△24.6%

2021年3月期 第2四半期 営業利益増減要因 実績

①コストアップ	原材料価格が下げに転じ、影響は限定的
②物流費増	前期までの増加は一巡
③合理化・コストダウン	製造固定費の削減、各種購買品の見直し、輸入合板価格の下落
④売価への転嫁	前期1Q後半から実施した物流費高騰への対応
⑤売上増減・構成差	素材、建材事業における既存事業製品の大幅な売上減
⑥その他経費	新型コロナ影響による活動の制限、費用の厳選・総点検による削減

(単位：百万円)



2021年3月期 第2四半期 市場別 売上実績

(単位：百万円) 上段：売上高、下段：構成比	'20/3期2Q (実績)	'21/3期2Q (実績)	前年同期比	
			増減額	増減率
海外市場	16,255	19,593	+3,338	+20.5%
	16.7%	21.1%	+4.4pt	-
公共・商業建築分野	11,024	10,897	△126	△1.1%
	11.3%	11.8%	+0.5pt	-
産業資材分野	14,174	12,201	△1,972	△13.9%
	14.5%	13.2%	△1.3pt	-
住宅リフォーム市場	16,249	14,270	△1,979	△12.2%
	16.7%	15.4%	△1.3pt	-
国内新築住宅市場	39,447	35,502	△3,945	△10.0%
	40.4%	38.3%	△2.1pt	-
その他	400	209	△192	△47.9%
	0.4%	0.2%	△0.2pt	-
国内市場	81,293	73,078	△8,215	△10.1%
	83.3%	78.9%	△4.4pt	-
合計	97,548	92,671	△4,876	△5.0%
	100.0%	100.00%	-	-

2021年3月期

業績予想

2021年3月期 業績予想

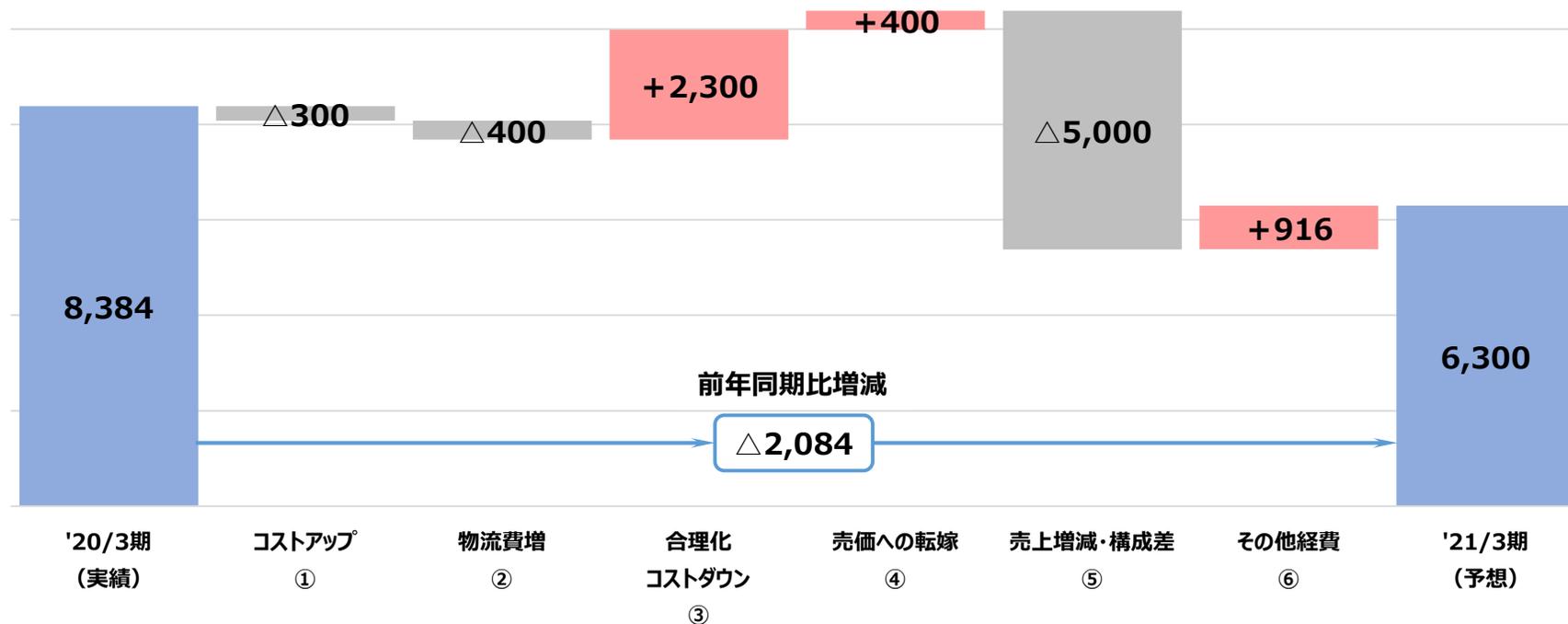
見通しの前提	国内新設住宅着工は、概ね2Qの基調が続き、急回復により過熱感のある米国住宅着工は、2Q水準に一定の調整が入る前提での見通し。
売上高	前期2Q以降に子会社4社の業績を連結損益に取り込んだ増加はあるも、既存事業製品の売上減により前年同期比6.2%減収（前期 新規連結影響を除く 前年同期比 8.8%減収）
営業利益	合理化・コストダウンや販管費削減に努めるも、売上減により前年同期比24.9%減益。
株主還元	期末配当は、中間配当同様に安定的な配当維持に努める考えを重視し30円に（年60円）

(単位：百万円)	'20/3期 (実績)	'21/3期 (予想)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	202,481	190,000	△12,481	△6.2%
営業利益	8,384	6,300	△2,084	△24.9%
営業利益率	4.1%	3.3%	△0.8pt	-
経常利益	9,108	7,000	△2,108	△23.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,447	4,000	△1,447	△26.6%
1株当たり 当期純利益	209.32円	153.61円	△55.71円	-
配当金（円）	70円 (中間35円、期末35円)	60円 (中間30円、期末30円)	△10円	-
配当性向（%）	33.4%	39.1%	+5.7pt	-
ROE（%）	9.5%	6.9%	△2.6pt	-

2021年3月期 営業利益増減要因 予想

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| ①コストアップ | 原材料価格が下げ基調により、影響は限定的 |
| ②物流費増 | 前期までの増加は一巡 |
| ③合理化・コストダウン | 製造固定費の削減、各種購買品の見直し、輸入合板価格の下落 |
| ④売価への転嫁 | 前期1Q後半から実施した物流費高騰への対応、効果は上期で一巡 |
| ⑤売上増減・構成差 | 素材、建材事業における既存事業製品の大幅な売上減 |
| ⑥その他経費 | 費用の厳選・総点検による削減 |

(単位：百万円)



2021年3月期 セグメント別 売上予想

素材事業

前期2Qからの北米の連結損益取り込みによる増加があるも、MDFや畳など既存事業製品の売上減の影響が大きく前年同期比1.6%減収。

建材事業

公共・商業建築分野向けにおける増収、消費増税反動減の影響が大きかった2Qからは改善するも、新築住宅、リフォームの売上減の影響大きく前年同期比8.6%減収。

エンジニアリング事業

リフォーム工事の回復、前期3Qからの無垢床材事業（工事）の連結損益取り込みが寄与するも、端境期にあたる影響で内装工事の減少が大きく前年同期比10.1%減収。

(単位：百万円)	'20/3期 (実績)	'21/3期 (予想)	前年同期比	
			増減額	増減率
素材事業	76,589	75,380	△1,209	△1.6%
建材事業	94,938	86,770	△8,168	△8.6%
エンジニアリング事業	21,713	19,520	△2,193	△10.1%
その他	9,240	8,330	△910	△9.9%
合計	202,481	190,000	△12,481	△6.2%

2021年3月期 市場別 売上予想

(単位：百万円) 上段：売上高、下段：構成比	'20/3期 (実績)	'21/3期 (予想)	前年同期比	
			増減額	増減率
海外市場	36,516	41,000	+4,484	+12.3%
	18.0%	21.6%	+3.6pt	-
公共・商業建築分野	26,292	23,650	△2,642	△10.0%
	13.0%	12.4%	△0.6pt	-
産業資材分野	28,483	24,350	△4,133	△14.5%
	14.1%	12.8%	△1.3pt	-
住宅リフォーム市場	31,777	29,170	△2,607	△8.2%
	15.7%	15.4%	△0.3pt	-
国内新築住宅市場	78,630	71,430	△7,200	△9.2%
	38.8%	37.6%	△1.2pt	-
その他	783	400	△383	△48.9%
	0.4%	0.2%	△0.2pt	-
国内市場	165,965	149,000	△16,965	△10.2%
	82.0%	78.4%	△3.6pt	-
合計	202,481	190,000	△12,481	△6.2%
	100.0%	100.00%	-	-

注力市場での主な取り組み

北米市場の展開

原木調達の安定化やグループ間連携強化のための倉庫活用などにより、事業基盤を強化するとともに、収益性向上のための高付加価値の製品展開を進め、さらなる拡大を図る。

単板 カナダ

CIPA Lumber Co. Ltd. (CIPA社)



原木調達の安定化

LVL 米国

PACIFIC WOODTECH CORPORATION (PWT社)



単板倉庫活用によるグループ連携強化

主な既存製品



構造用LVL



建築用 足場板



J-joist

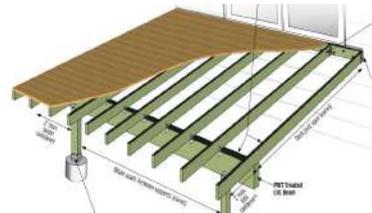


LVL

付加価値を高める製品展開



防腐性能を付与したLVL



防腐LVLデッキ施工イメージ

不燃製品のラインアップ強化

当社独自の不燃素材「ダイライト」を活用し、公共・商業施設で基本性能として求められる不燃性を確保しつつ、優れた加工性や空間をトータルコーディネートできる意匠性を備えた不燃製品のラインアップを強化。



抗ウイルス機能建材の拡充

高齢者施設、医療施設向けドアなど公共・商業建築分野で採用が広がる機能建材に、抗ウイルス機能「ビオタスク」を付与した製品を拡充し、基本スペックとしてのニーズが高まる“安全・安心・健康・快適な空間づくり”に貢献

高齢者施設向けドア



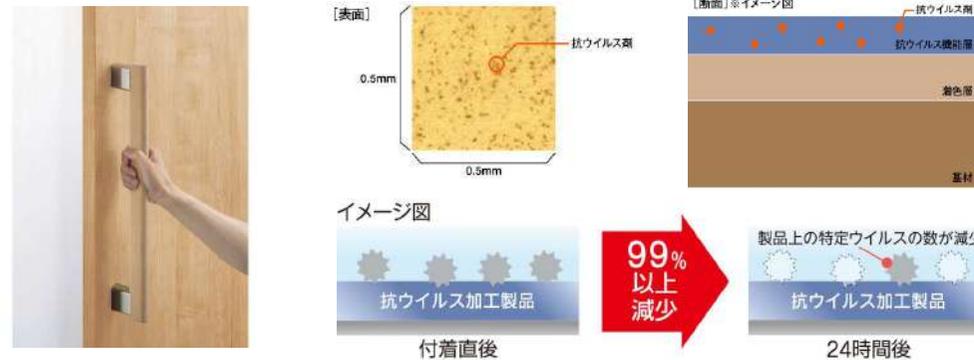
医療施設向けドア



幼稚園・保育施設向けドア

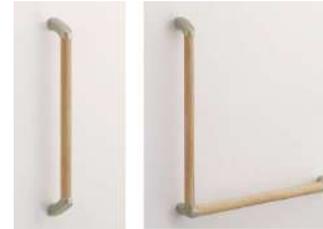


抗ウイルス機能「ビオタスク」



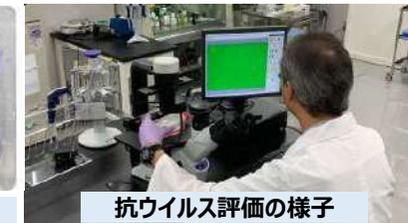
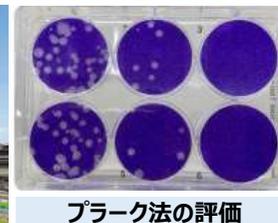
※ビオタスク：抗ウイルス機能に対する当社独自の名称（当社登録商標）

抗ウイルス機能「ビオタスク」付きの製品展開

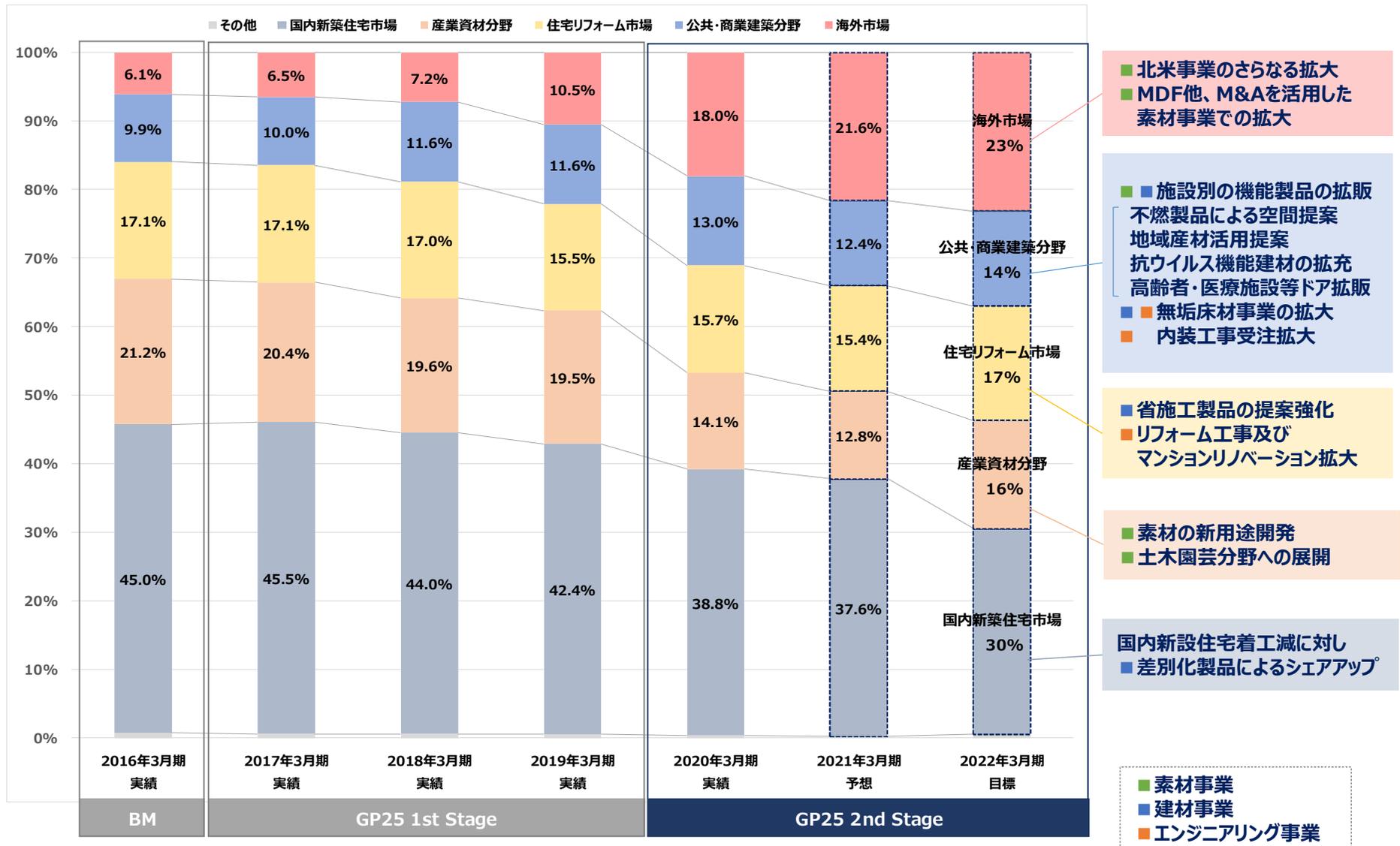


SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工

R&Dセンターでの研究開発



市場別 売上構成比推移 (中期経営計画で目指すポートフォリオ)



財務情報

2021年3月期 第2四半期 連結貸借対照表 (主な増減要因)

(単位：百万円)	'20/3期 (実績)	'21/3期2Q (実績)	前年同期比 増減
現金預金	16,839	19,011	+2,172
売上債権	42,092	37,515	△4,577
たな卸資産	27,010	27,453	+443
その他の流動資産	1,990	2,058	+68
流動資産合計	87,934	86,038	△1,896
有形固定資産	51,426	51,069	△357
無形固定資産	14,834	14,624	△210
投資その他の資産	16,351	16,759	+408
資産合計	170,638	168,562	△2,076
仕入債務	26,846	24,164	△2,682
有利子負債	43,876	45,071	+1,195
その他の流動・固定負債	36,940	31,930	△5,010
負債合計	107,662	101,165	△6,497
株主資本合計	57,059	58,164	+1,105
純資産合計	62,975	67,397	+4,422
負債・純資産合計	170,638	168,562	△2,076
自己資本比率	32.7%	35.3%	+2.6pt
D/Eレシオ (倍)	0.79	0.76	△0.03
ネットD/Eレシオ (倍)	0.48	0.44	△0.04

◆現金預金 +2,172

<主な要因>

手元流動性積み増し +2,172
※別途未使用コミットメントライン 5,000

◆たな卸資産 +443

<主な要因>

製商品・原材料等 +189
工事仕掛品 +254

◆有形固定資産 △357

<主な要因>

取得・建設仮勘定 +1,693
減価償却費 △2,321
為替変動 他 +271

◆有利子負債 +1,195

<主な要因>

借入増 (手元流動性確保) +1,177

◆純資産合計 +4,422

<主な要因>

為替換算調整勘定 +1,327
その他有価証券評価差額金 +708
非支配株主持分 +668

2021年3月期 第2四半期 連結損益計算書 (営業外収支、特別損益等 補足説明)

(単位：百万円)	'20/3期2Q (実績)	'21/3期2Q (実績)	前年同期比 増減
売上高	97,548	92,671	△4,876
売上総利益	24,289	23,169	△1,120
販売費及び一般管理費	20,499	20,311	△187
営業利益	3,790	2,857	△932
営業外収支	+407	+514	+107
経常利益	4,197	3,371	△825
特別損益	△433	+235	+668
税金等調整前当期純利益	3,764	3,607	△157
法人税等合計	1,223	1,025	△198
四半期純利益	2,541	2,581	+40
非支配株主に帰属する 四半期純利益	453	595	+141
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,087	1,986	△100

◆営業外収支 +107

<主な要因>

コロナ関連助成金	+170
受取配当増	+12
支払利息増	△7
為替差損益	△71

◆特別損益 +235

<主な要因>

固定資産売却益	+369
固定資産除却損	△73
災害による損失	△62

為替レート (円)	'20/3期2Q (実績)	'21/3期2Q (実績)	前年同期比 増減
USD	107.29	106.82	△0.47
CAD	81.25	78.62	△2.63
NZD	71.20	68.32	△2.88
MYR	26.12	25.06	△1.06

2021年3月期 第2四半期 連結キャッシュフロー計算書 (主な増減要因)

(単位：百万円)	'20/3期2Q (実績)	'21/3期2Q (実績)
営業キャッシュフロー	+7,435	+3,640
投資キャッシュフロー	△15,612	△1,827
フリーキャッシュフロー	△8,177	+1,813
財務キャッシュフロー	+5,490	+217
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,955	19,011
設備投資額	2,353	1,571
減価償却費	2,353	2,744

◆営業キャッシュ・フロー +3,640

<主な要因>

税金等調整前四半期純利益	+3,607
減価償却費	+2,744
売上債権・仕入債務増減	△913
たな卸資産増減	△269
法人税等の支払額	△1,748

◆投資キャッシュ・フロー △1,827

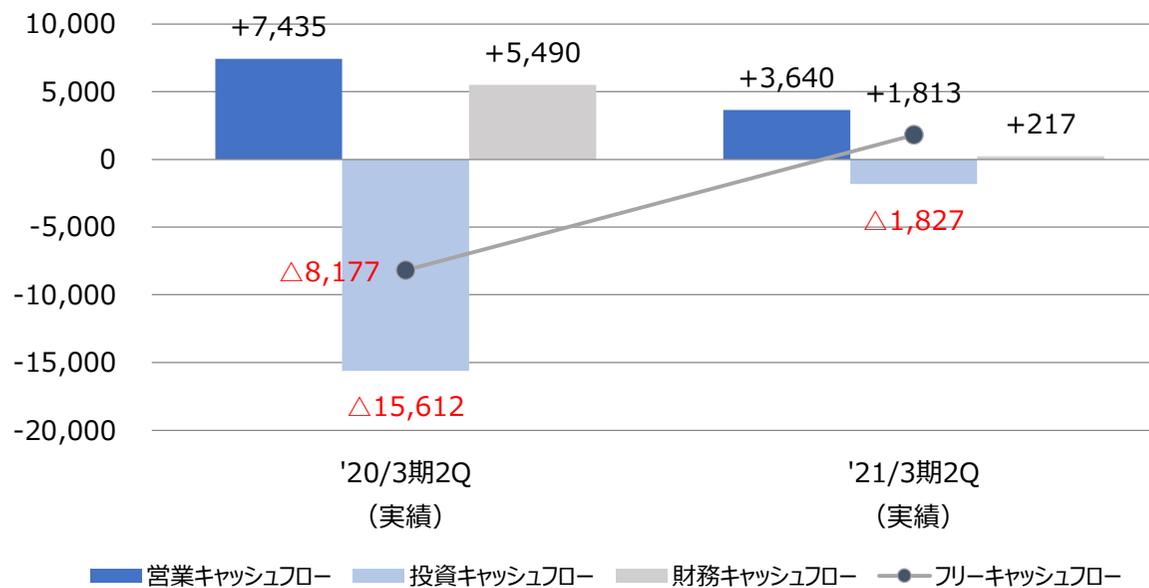
<主な要因>

有形固定資産の取得	△1,824
-----------	--------

◆財務キャッシュ・フロー +217

<主な要因>

長短借入金増	+1,215
配当金の支払額	△910



キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

本資料は情報提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。
本資料（業績予想を含む）は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。
ご利用に関してはご自身の判断にてお願い致します。
本資料に掲載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に対しても当社は責任を負いません。